



～ 手話で繋がる笑顔の輪 ～

身延山学園 身延山高等学校

手話コミュニケーション部

高校生ボランティア・アワード2022

保育園児と手話発表



耳の日まつり



ボランティア・アワード



「誰もが手話で『ありがとう』の できる世界を目指して♪」

私たちは手話を通し地域活性化を行っています。県そして世界に手話の楽しさを広めることが私たちの目標です。ろう者と健常者の言葉の境界を解きほぐし架け橋になれる日常を実現させたいと思います。

手話ができることでろう者の方はすごく喜んでくれます。実際にろう者の方とコミュニケーションを通して、私はとても元気づけられました。少しでも多くの方々に手話の楽しさに気づいて頂けるよう頑張ります。

手話講座を行っているので、手話に興味があったら連絡してこうし～

手話部部長 後藤 凜華

「手話の普及」 「聴覚障がい者の理解」

主な活動概要

- (1) 地域の幼稚園、保育園、
小・中学校での手話教室開催
- (2) 障害者サッカー大会への参加
- (3) 毎年復興地でのボランティア
- (4) 山梨県立ろう学校高等部
との交流
- (5) 山梨県高等学校芸術文化祭
グラウンドステージでの手話通訳
- (6) 手話パフォーマンス甲子園出場

中学校での手話教室 老人ホームでの手話教室



芸術文化祭での手話通訳



高齢者サロン



東北復興支援手話歌



「手話を通じて人との縁、喜びは宝物」

手話教室後の感想

生徒

・「手話」に関して私はあまり興味がありませんでした。しかし手話教室の話を聞き、実際に手話をやってみて興味を持ちました。将来、耳の聞こえない人に出会った時のために少しずつ勉強していきたいと思いました。

・私の聴覚障がい者に対する考えが大きく変わりました。これからは耳が聞こえない人も生活しやすいようにテレビや動画等の字幕を見直していく必要もあると思いました。また自分には何ができるかを考えてみようとも思いました。

先生

手話について学べる良い機会となりました。生徒たちも手話を楽しそうに学んでいて、とても良い時間となりました。

手話と出会って成長できたこと

☆“ろう文化の社会が分からない”、私もそうだった様に、この様な聴者は沢山いると思います。しかし、手話部に入り、ろう者の生活や手話はもちろん、手話以外のコミュニケーション方法も知ることが出来ました。“手段は手話だけではない”、それを知れた事でろう者との関わりの、“難しそうや”、“不安”といった気持ちのハードルが、“自分にも出来るかも！”“や”大丈夫だ“という気持ちに変化しました。
(1年・深澤杏香)

☆私は手話を通し、多くのことに気づかされ、多くのことを学びました。手話部に入部する前の私は、何でも一人でやろうと周りの人をあまり頼ることをしませんでした。手話部に入部し、手話教室や手話歌を全員で考え披露した結果、ろう者の方々や、小さな子供達が喜んで下さり、多くの笑顔を見ることが出来ました。そのとき私は、1人でなんでも抱え込んで行動するのではなく、皆で助け合い協力することで、本当に良いものが作れるのだと、初めて知ることが出来ました。
(3年・佐藤悠斗)

『前より手話で話ができるようになったね』 (県立ろう学校の友達に言われた嬉しい言葉)

この嬉しい言葉を胸に、私たちは、以下の目標を達成します！！

1、今年目標

- (1) 3年生が卒園した幼稚園・保育園での手話教室を実現させる！
- (2) ろう者と聴者をつなぐデフサッカー教室を開催します！
- (3) 全国高校生手話パフォーマンス甲子園に出場し、優勝！！
- (4) 卒業中学校での手話パフォーマンス＆手話教室を実現させる！
- (5) 手話検定全員合格！！

2、新たな企画として

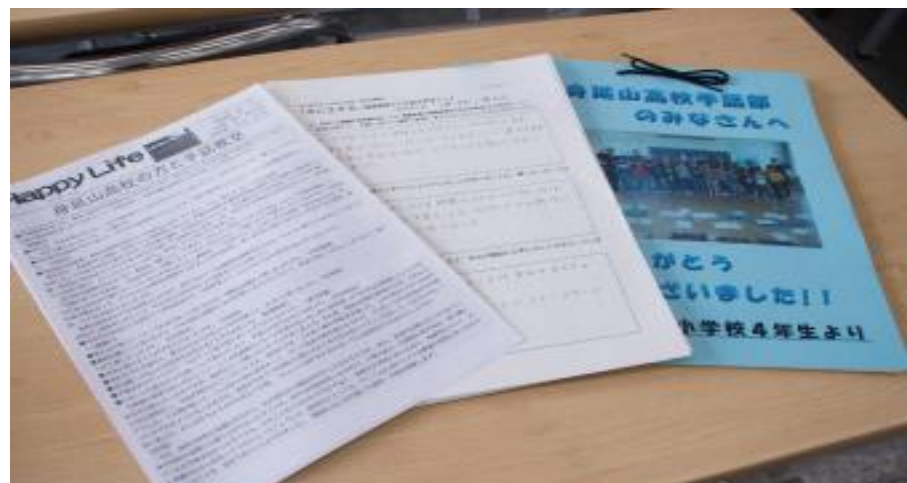
- (1) ろう者と聴者をつなぐデフサッカー教室の開催！
- (2) ろう学校の寄宿舎に宿泊し、仲を深める！

新日本語、手話辞典



手話が分からなくて困ったときの心強いサポート

多くの激励の言葉



私たちが前を向いて頑張れる源！

県立ろう学校の応援色紙とタオル



互いに励まし合い高みを目指す



手話部 活動プロフィール

平成15年設立。現在、男子3名、女子6名で活動。私たちのモットーは、「前を向くと多くの人に感動を」です！

大変で諦めたい時も苦しい時も、前を向いて一歩先に進む。誰もが当たり前手話で挨拶を、私たちが待っている誰かのために立ち上がり沢山の人々に感動と喜びを自分ちの手で届けられる活動をこれからも続けて頑張っていきます。